

令和8年7月30日
独立行政法人水資源機構

令和8年熊本地震の被災地で給水支援 ～水資源機構が保有する「可搬式浄水装置」を派遣～

水資源機構では、地震や水害など大規模な自然災害発生等による水供給関連施設の被災に備え、被災地への給水支援ができるよう可搬式浄水装置を配備しています。

令和8年熊本地震の発生を受け、水資源機構では「緊急災害対策支援本部」を設置し、本日、当機構が保有する可搬式浄水装置を被災地に向け派遣します。

可搬式浄水装置は、海水でも真水に浄水できるもので、日常生活に必要な水を供給できる能力があり、これまでも各地で発生する災害で被災地に派遣しています。

（可搬式浄水装置の詳細には別紙資料を参照下さい）

発表記者クラブ： 国土交通記者会、水資源記者クラブ、竹芝記者クラブ

お問い合わせ先： 独立行政法人水資源機構 総務部広報課 井盛（いもり）

電話：048-600-6513（直通）

危機管理室 谷藤（やとう）

電話：048-600-6541（直通）



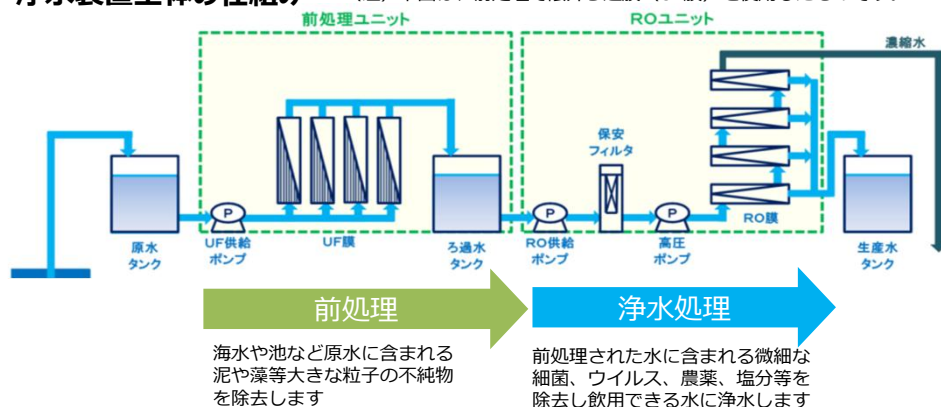
緊急応急時の給水支援 可搬式浄水装置

水資源機構は、異常な渇水、洪水がもたらす水害、大規模な地震等により水供給が被災した際に備え、被災地へ緊急応急的に給水支援できるよう、ため池の水や海水でも飲用水として浄水できる「可搬式浄水装置」を保有しており、平成23年3月の東日本大震災以降、各地で支援活動を行っています。

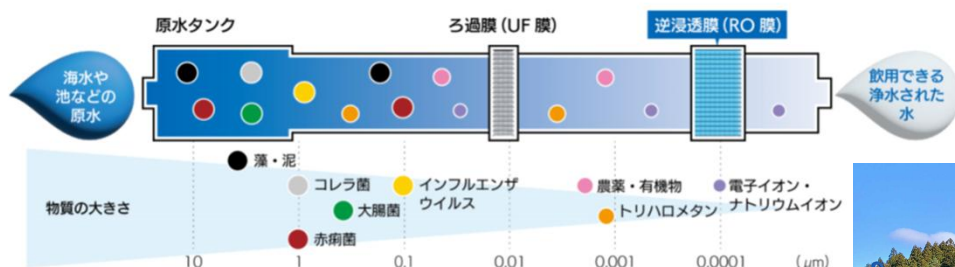
可搬式浄水装置の仕組み

浄水装置全体の仕組み

(注) 下図は、前処理で限外ろ過膜(UF膜)を使用したものです。



浄水処理の流れ



浄水に必要な装置をトラックに積載搬送して、現地で各ユニットを設置し装置を稼働させます。



可搬式浄水装置全景

区分	1号機	2号機
保管場所	愛知用水総合管理所 (愛知県東郷町)	利根導水総合管理所 (埼玉県行田市)
処理能力	約2,000リットル／1時間	約2,000リットル／1時間
処理方式	二段式逆浸透膜方式 (前処理：砂ろ過)	一段式逆浸透膜方式 (前処理：UF膜)
運搬方式	8 t ユニック車 3台	8 t ユニック車 2台

これまでの給水支援活動

	災 害	派遣先	派遣期間	支援概要
①	東日本大震災	茨城県 桜川市	H23.3.14～3.22 (9日間)	地震で霞ヶ浦用水が被災し、断水した地域への給水支援
②	渇水	東京都 小笠原村父島	H23.7.16～8.26 (42日間)	31年ぶりの渇水で給水支援
③	東日本大震災	宮城県 女川町江島	H23.9.26～H25.3.19 (541日間)	震災による断水で給水支援
④	熊本地震	熊本県 山都町	H28.4.22～4.24 (3日間)	地震により水道水が濁り供給できなくなったため給水支援
⑤	渇水	東京都 利島村	H28.6.8～7.11 (34日間)	水源の枯渇が見通され給水支援
⑥	渇水	東京都 小笠原村父島	H29.2.18～5.22 (94日間)	H28秋から少雨が続き、水源の枯渇が見通され給水支援（H23支援後、協定締結）
⑦	渇水	福岡県 新宮町相島	H30.2.18～3.19 (30日間)	H29.11から少雨が続き、水源の枯渇が見通され給水支援
⑧	西日本豪雨	広島県 三原市	H30.7.15～7.22 (8日間)	西日本豪雨で被災し断水した地域へ給水支援
⑨	渇水	福岡県 新宮町相島	H31.1.27～R1.7.7 (162日間)	水源の枯渇が見通され給水支援
⑩	渇水	東京都 小笠原村母島	H31.4.6～R1.5.8 (33日間)	母島の水源の枯渇が見通され給水支援
⑪	管路破損	山口県 下関市六連島	R5.1.10～2.16 (38日間)	六連島への水管が破損し、水道水の供給ができないおそれがあり、給水支援
⑫	能登半島地震	石川県 珠洲市	R6.1.9～4.19 (102日間)	震災による断水で給水支援
⑬	渇水	東京都 利島村	R8.1.30～R8.4.9 (70日間)	水源の枯渇が見通され給水支援
⑭	渇水	佐賀県 唐津市加唐島	R8.3.10～R8.4.27 (49日間)	水源の枯渇が見通され給水支援

地震によるもの

渇水によるもの

水害によるもの

故障等によるもの

緊急災害支援に備えた対応と訓練

水資源機構は、災害対策基本法に基づく指定公共機関に指定されています。

また、日頃欠かすことができない水が供給できない事態が生じた場合は、日本水道協会との間で「災害時における支援活動に関する協定」を締結し、要請に応じて支援活動を行います。

職員は、浄水装置の設置や稼働に速やかに対応できるよう訓練を実施し、緊急災害支援に備えています。



可搬式浄水装置設置訓練の様子